

みたか議会だより

発行・三鷹市議会 ☎0422(44)0249
〒181-8555 三鷹市野崎一丁目1番1号
http://www.gikai.city.mitaka.tokyo.jp

第239号 平成15年4月29日

平成15年第1回定例会

2月27日～3月20日

審議事項	審議件数	可決・採択	否決・不採択(撤回)	審議未了
議案	22	22	0	0
請願	11	1	5(3)	2
意見書・決議	8	4	4	0

主な内容
2・3面……………一般質問、特別委員会報告
4面……………特別委員会報告、請願、陳情、意見書・決議

平成15年度予算規模

一般会計	522億1,197万5千円
(骨格予算)【前年度予算比7.5%の減】	
特別会計	
国民健康保険事業	129億7,946万円
下水道事業	29億9,807万6千円
(骨格予算)	
再開発事業	14億99万1千円
(骨格予算)	
老人医療	127億863万3千円
老人保健施設事業	3億7,338万7千円
介護保険事業	62億6,653万円
受託水道事業	31億5,100万円
総計	920億9,005万2千円

平成15年度予算を可決

予算審査特別委員会を設置し、審査

三鷹市議会は、現議員の任期最後の定例会となる平成15年第1回定例会を、2月27日から3月20日までの22日間にわたって開催した。この定例会では、初日、2日目と13人の議員による市政に関する一般質問が行われ、議案22件、意見書・決議4件を可決、請願1件を採択し、会期を終えた。

本定例会では、市長から、平成15年度の各会計予算案や三鷹市介護福祉条例の一部を改正する条例などの議案の提案があった。このうち、安田市長の市長選不出馬のために「骨格予算」として編成された新年度予算案は、予算審査特別委員会に一括して付託され、審査が行われた。

最終日の3月20日には、「イラクへの軍事行動を中止し、国連による平和的解決を求める決議」が議員から動議として提出され、可決のうえ、国などの関係機関に送付された。また、本定例会は今期最後となるため、各特別委員会からこれまでの活動経過が報告された。

各会計予算の議決結果

▽一般会計(骨格予算)
賛成多数で原案可決

▽特別会計
国民健康保険事業
満場一致で原案可決

下水道事業(骨格予算)
満場一致で原案可決

再開発事業(骨格予算)
賛成多数で原案可決

老人医療「満場一致で老人保健施設事業」原案可決

介護保険事業
賛成多数で原案可決

受託水道事業
満場一致で原案可決

骨格予算を審査

平成15年度の一般会計は77件の各会計予算案は、3月5日に予算審査特別委員会に付託され、延



調布基地跡地に新たにスポーツ施設が誕生した
…本年4月にオープンした大沢野川グラウンド

べ4日間の審査を経て、20日の本会議で委員長の報告どおり、それぞれ原案が可決された。

昨年11月、安田市長から4月に実施される市長選挙には立候補しないことが表明された。このことから、今回提案のあった新年度の予算案については、義務的な経費や、裁量の余地のない経費的な経費などを中心とする「骨格予算」として編成された。政策的経費や投資的経費を盛り込んだ通常の年間予算は、次期市長の方針に基づいて6月に補正予算として提案されることになる。

平成15年度の予算規模は、一般会計と各特別会計の総額で920億9,005万2千円となり、前年度予算を44億7,700万6千円、4.6%下回ったものとなっている。これは、一般会計、下水道事業特別会計及び再開発事業特別会計の3会計について、骨格予算として編成されたことが主な要因である。また、前年度の一般会計において市債の繰上償還費を計上していたという特殊要因があったことなどによるものである。

市議会としては、こうした予算編成の経過を踏まえ、本会議での各会派からの予算に関する代表質問は、今回行わないこととした。

ただし、予算審査特別委員会については設置することとし、例年よりも日程を短縮させて委員会で各会計予算案の審査を行った。

予算審査特別委員
◎久保田輝男(公明党)
◎中山 和政(政新クラブ)

丹羽 秀男(公明党)
加藤 久平(政新クラブ)
吉田 武(グループ21)
嶋崎 英治(民主市民連合)
高谷真一朗(民主市民連合)
大竹 和男(無所属の会)
石井 良司(政新クラブ)

◎委員長 ◎副委員長

介護福祉条例の改正を可決

保険料の改定

今定例会で、市長から三鷹市介護福祉条例の一部を改正する条例の提案があり、厚生委員会に付託、審査のうえ、20日の本会議で賛成多数により可決された。

この議案の主な内容は、平成15年度から17年度までの各年度の第1号被保険者の保険料を定めるものである。

介護保険制度については、平成12年4月にスタートし、制度の定着に伴い、本市での介護サービス

平成14年度 4会計予算の補正

今定例会に、市長から平成14年度一般会計ほか3会計補正予算の提案があり、総務委員会に付託、審査された。最終日20日の本会議では、一般会計及び再開発事業特別会計については賛成多数、他の2会計については満場一致で、それぞれ可決された。

一般会計補正予算(第3号)
歳入歳出予算の総額に、それぞれ7億5,217万4千円を追加し、総額58億7,381万2千円とする。このうち、繰越明許費を設定する。

歳出では、総務費で、1つは訴訟等関係費の増280万8千円、2つ目は、まちづくり施設整備基金の元金積立金の増3億6,725万7千円である。また、民生費で老人医療特別会計繰出金の増3億3,685万9千円、衛生費で武蔵野三鷹地区保健衛生組合負担金の増4,525万円である。

歳入では、市税で固定資産税の償却資産分3億4,800万円、財産収入で土地売却収入3億6,141万4千円、寄附金で本年度分の土木費寄附金3,670万円をそれぞれ増額する。また、繰入金で、国民健康保険事業特別会計からの繰入金600万円を計上する。

繰越明許費については、土木費の「三鷹都市計画道路3・4・7号線整備事業」について、用地取得費等の一部6,901万9千円を翌年度に繰り越すものである。

国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出予算の総額に、それぞれ8,772万6千円を追加し、総額を11億6,616万3千円とする。

再開発事業特別会計補正予算(第1号)
「再開発事業用地取得事業」について繰越明許費を設定し、3千495万5千円を翌年度に繰り越す。

老人医療特別会計補正予算(第2号)
歳入予算について補正を行うものである。

今定例会最終日の3月20日に、市長から追加議案として、「固定資産評価審査委員会委員の選任について」とする人事議案2件の提案があり、いずれも満場一致で同意された。

外立 憲和氏(再任)
実藤 一稔氏(再任)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

三鷹市議会では、市制施行50周年の記念事業として「三鷹市議会史」の編纂作業を進め、このほど発行いたしました。

「三鷹市議会史」の刊行は昭和57年に次ぐもので、主な対象期間は昭和56年から平成12年までの20年間となります。

今回は記述編、資料編の二冊で、これらを1枚に収録したCD-ROMも製作しました。

記述編は、市議会の活動を議員任期の4年ごとに記述してまとめられたもので、今村都南雄中央大学教授をはじめ3人の大学教授・研究者が執筆しています。

資料編は、20年間の市議会の活動記録をデータとして収録したものです。

「三鷹市議会史」は市立図書館やコミュニティ・センター図書室で閲覧できるほか、希望者

「みたか議会だより」は、(社)三鷹市シルバー人材センターを通じて、みなさまの各ご家庭にお届けしています。

配布に関するお問い合わせは、
(社)三鷹市シルバー人材センターへ
☎0422(48)6721

「三鷹市議会史」を
発行しました
には販売も行っていきます。

◆頒布価格
「三鷹市議会史記述編(90頁) 1冊3千円
「三鷹市議会史資料編(1千830頁) 1冊3千800円
「三鷹市議会史CD-ROM」 1枚2千800円
市役所2階の情報公開総合窓口で販売しています。